

## ＜生徒による授業評価アンケート＞

石川県立野々市明倫高等学校

### 1 授業評価の実施状況と今回の変更点について

本校では、平成18年度より年2回（1学期末と2学期末）生徒による授業評価を施し、まる4年が経過した。それによって教師側に授業改善の意識が高まり、反省と改善を加えた結果、生徒の教師への満足度も着実に向上した。また、生徒への指導にも役立てることができ、一定の成果をおさめてきた。

しかし、「教師への満足度」と「生徒の努力度」の二本立てとし、それらの平均を業力指数としているため、評価項目も合わせて20項目とかなり多く、100点満点に換するためその数字に振り回される面も少なからずあった。したがって、今回、二本立てをなくし、評価項目も精選して、よりシンプルなものとし、分析結果も見やすくし、今後の指導に生かしやすいように改良を加えた。

### 2 新授業評価の概要

#### (1) 実施時期・回数

従来と変わらず、年2回（1学期末と2学期末）実施する。

#### (2) 対象授業

従来と変わらず、全教科全科目において実施する。

#### (3) 評価項目と評価基準

従来の「教師への満足度」と「生徒の努力度」の二本立てをなくし、評価項目精選して半分の10項目とし、評価基準は共通にした。

##### 【評価項目】

- ① この授業に集中して取り組んでいる。
- ② この授業が理解できる。
- ③ この授業に予習をして臨んでいる。
- ④ この授業に復習をして臨んでいる。
- ⑤ 先生の授業に対する熱意や情熱が感じられる。
- ⑥ 先生の説明はわかりやすい。
- ⑦ この授業を受けると学習意欲が高まる。
- ⑧ 先生は教え方を工夫している。
- ⑨ この授業の進度（スピード）はちょうどよい。
- ⑩ 実技の向上が実感できる。（実技科目の体育・芸術・情報についてのみ回答する。）

##### 【評価基準】

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 よくあてはまる    | 2 ややあてはまる     |
| 3 あまりあてはまらない | 4 まったくあてはまらない |

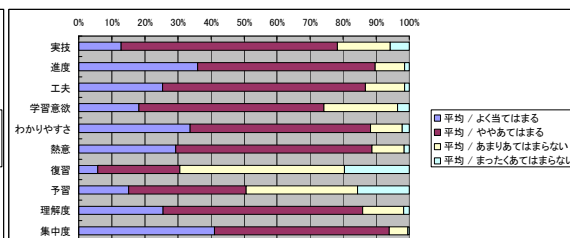
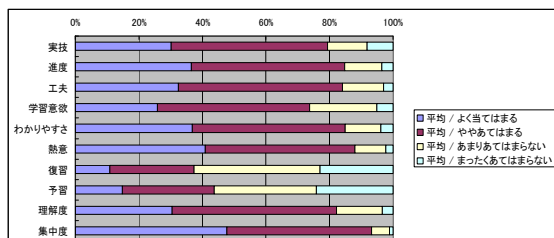
### 3. その他

今年度の自己評価計画の重点目標の一つである、「授業改善に努め、少人数・習熟別授業の研究・実践を通して、指導力を高め学力向上を図る。」の評価に、この授業評価アンケートの結果を利用する予定である。

## 平成22年度 第1回授業評価アンケート（7月実施）の集計結果

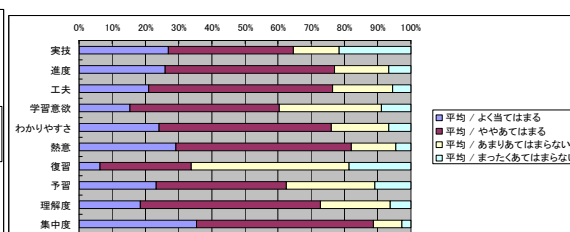
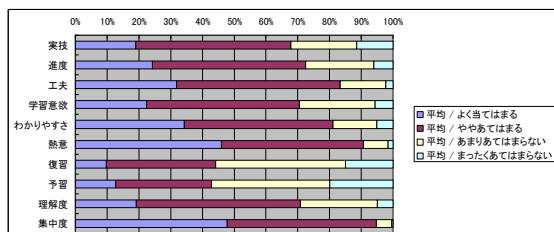
### 全体

### 国語



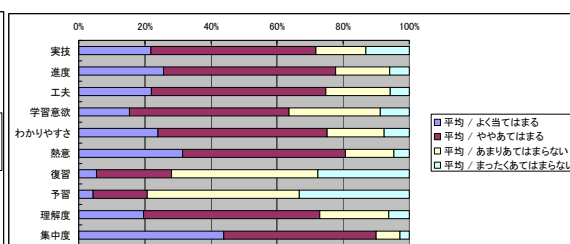
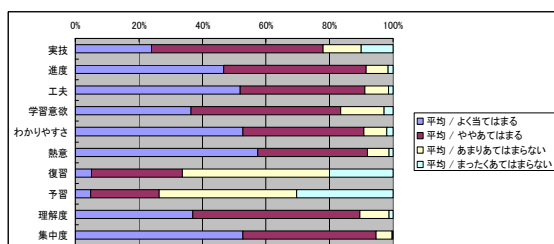
### 数学

### 英語



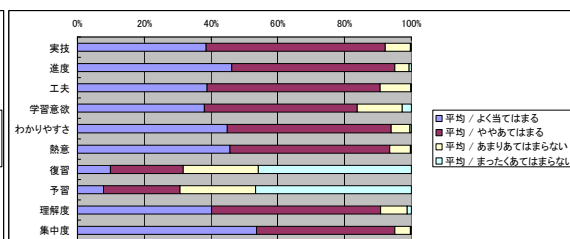
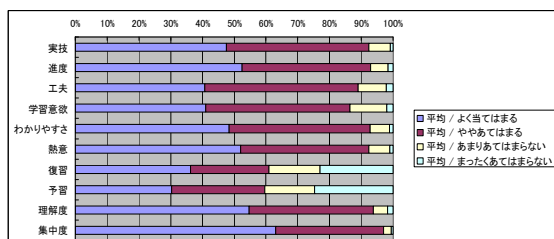
### 地歴公民

### 理科



### 保健体育

### 芸術・家庭



### 分析結果

- ①「集中度」はどの教科も 90%を越え、まずまずであるが、「理解度」になると、数学、英語、理科は 80%を下回り、英語及び理系科目に苦手な本校生徒の特徴が表れている。
- ②今年度の重点目標の一つである「授業改善に努め、少人数・習熟度別授業の研究・実践を通して、指導力を高め学力向上を図る。」の評価の観点に見合うものとして、今回の全体の授業評価項目の「熟慮」「わかりやすさ」「工夫」の平均を取ると約 86%のため、教員に対する満足度は B と判定できる。
- ③生徒の授業に対する取組がまずまずで、教師に対する満足度も高いのに、「理解度」「学習意欲」がもうひとつであるのはなぜか。一つには予習・復習といった家庭学習時間の不足によるところが大きく、したがって学習の定着の度合いが低いことが考えられる。